朝日町　道路舗装維持管理計画
（道路施設個別修繕計画）

平成３１年３月（全面改正）

朝　日　町

目　　次

【舗装編】
１．背景と目的
（１）背景
（２）目的

２．道路の状況
（１）管理延長等
（２）舗装の健全度把握

３．維持管理の基本的な考え方
（１）舗装管理の基本方針
（２）管理道路の分類
（３）点検方法
（４）管理基準

４．修繕等に係る費用の縮減
（１）基本方針
（２）具体的な取組
（３）優先順位の考え方
（４）計画期間

【付属施設編】
１．照明施設
（１）基本方針
（２）具体的な取組
（３）優先順位の考え方
（４）計画期間

【舗装編】

１．背景と目的

（１）背景

本町は、平成２７年４月１日現在、６６，８１４ｍの町道を管理しており、このうち６１，５４８ｍ（９２．１％）が舗装された道路となっています。このように、舗装化率が高い道路を管理する本町では、従来の事後的な修繕を継続した場合、近い将来には、維持管理コストが膨大となる事が想定されます。このため、今後は、限られた財源の中、予防的かつ計画的な維持管理の実践により、安全性の確保とコスト縮減が求められています。

（２）目的

このような背景から、従来の事後的な修繕から予防的かつ計画的な修繕へと転換を図り、舗装の修繕に係る費用の縮減を図りつつ、道路の安全性・信頼性を確保します。

２．道路の状況

（１）管理延長等

種別	実延長 （m）	道路面積 道路部 （㎡）
１　級　町　道	１１，４６８	８６，８９３
２　級　町　道	５，６７８	３６，８２１
そ の 他 町 道	４９，６６８	２３９，４１６
合　　計	６６，８１４	３６３，１３０

（２）舗装の健全度把握

交通量の多い主要道路（１・２級町道）について、平成２６年度にひびわれ等の状況を把握する路面性状調査により舗装の健全度（ＭＣＩ値）を算出し、路面の現状を把握しました。

この調査により、ＭＣＩ値が５以下の区間が約４０％存在していることが分かりました。

また、その他町道については、路面性状調査は実施していないものの、日常の巡回や定期的な巡視により、老朽化等によるひび割れやわだち掘れが生じていることを把握しました。

３．維持管理の基本的な考え方

（１）舗装管理の基本方針

戸別施設計画の策定にあたっては、路面性状調査及び巡回・巡視の結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指す。

（２）管理道路の分類

当町が管理する道路を、交通量の多い主要道路を１・２級町道とし、それ以外の道路をその他町道と区分する。

（３）点検方法

定期的に路面性状調査、巡回・巡視を実施することで路面状況の把握を行う。

（４）管理基準

ひび割れ率評価区分数量表			
20 未満（m）	20 以上 40 未満（m）	40 以上（m）	
損傷レベル：小	損傷レベル：中	損傷レベル：大	

わだち掘れ率評価区分数量表			
20 未満（m）	20 以上 40 未満（m）	40 以上（m）	
損傷レベル：小	損傷レベル：中	損傷レベル：大	

ＩＲＩ率評価区分数量表			
3ｍｍ未満 ／m（m）	3ｍｍ以上 8ｍｍ未満 ／m（m）	40 以上（m）	
損傷レベル：小	損傷レベル：中	損傷レベル：大	

４．修繕等に係る費用の縮減

（１）基本方針

これまでの点検結果を基に、優先順位を定め計画的に実施することにより、舗装修繕に必要な費用の平準化を図ります。

（２）具体的な取組

道路利用者の安全・安心を確保するため、定期的に路面性状調査、巡回・巡視を実施することで路面状況の把握し、維持管理サイクル（ＰＤＣＡサイクル）にしたがい、道路の維持管理を行います。

（３）優先順位の考え方

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量、地域特性等を考慮し補修の優先順位を決定する。

（４）計画期間

当該個別修繕計画の計画期間は５年とする。

【付属施設編】

１．照明施設

（１）基本方針

計画対象とする照明施設について、更新及び修繕等に係るライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図ります。

（２）具体的な取組

従来のＨＩＤ灯（ナトリウム灯など）に比べて、ランニングコストや、維持管理に優れたＬＥＤ灯へ更新していきます。

（３）優先順位の考え方

更新及び修繕等の優先順位は、照明灯の状況や地域特性を考慮し、総合的に評価します。